

## 特集：卒業

## 生物学類学生表彰を受賞して — 4年間を振り返って—

井上 幸樹（筑波大学 生物学類 4年）

今この文章を書くにあたり、私の4年間をなんとなくさらりと振り返ってみました。

2008年4月筑波大入学

・1年次  
授業、授業、授業、JBO、授業、授業、授・・・

・2年次  
授業、実習、実験、IBO

・3年次  
JBO、イモリの里、SCOUT、実習、たま〜に授業、研究室選び、家でのんびりまったり

・4年次  
卒研、博物館実習、卒研、サイエンスキッズ、SCOUT、卒研、イモリの里、SS リーグ、卒研、卒業旅行、卒研、卒研、卒研、卒研発表

・その他  
部活、ラーメン、読書(マンガ)、ゲーム、飲み会 etc.

2012年3月卒業

・・・意外といろいろなことをやってきたのだなあとしみじみ思っています。

まずこの4年間を通じて私は、自身の興味の中心であった生物学について、様々なことを学ぶことができました。生物学類には非常に多様な授業や実習・実験が存在するため、他学や学芸員の授業と合わせて履修計画を立てるのには正直言って非常に苦労しました(もう少しシステムがなんとかないといいなあとはいいますが、そうした多様な科目を履修することにより、多くの知識・技術を学ぶことができたように思えます。こうした知識の1部は卒業研究やサイエンスコミュニケーション関係の活動、そして日常の些細な出来事などにおいて実際に役立ってきました。よく、「卒業研究〜社会に出るようになると、生物学の中の1分野 or まったく生物学ではないことをするようになるから、大学で学んだことのほとんどは役に立たないよ」と考える人が多いようですが、少なくとも私は、ここで得たものはいつか役に立つときがくると思っています。

一方で、私は生物学オリンピックのスタッフやサイエンスコミュニケーション関係などのいろいろな活動にも参加してきました。今までの人生では基本的にひきこもりで、あまり積極的にそ

うした活動には関わってこなかったのですが、大学に入ってからこういう活動にも参加できるようになりました。その理由としては周囲の友人たちの影響が大きかったように思います。私の周りには、というか生物学類には、自身の興味を持ったことなどにどんどん積極的に参加していく人が非常に多かったです(そのせいで学業面があれになってしまった友人などもありましたが・・・)。私はこうした友人たちに誘ってもらえたことで、やってみたいと思ってもなかなかできなかった様々な活動に参加し、いろいろな経験することができました。もしこうした経験をすることができなかったら、今回、学類長表彰をいただいて、この場に文章を書くことはなかったでしょう。友人たちに感謝です。

全体を振り返ってみて後悔がないかといえば嘘になります。「あの時こうしとけばよかった」とか「もっとこういうことをしとけばよかった」とかいろいろと後悔は尽きないです。ですが人間なにしたって多かれ少なかれ後悔はすると私は思っているのです。そういったことは抜きにして考えると、こんな風に学業・その他の活動ともに頑張ってこられましたし、大好きなマンガをたくさん読んだりラーメンをたくさん食べたりもできました。そして何より、一緒にいて楽しい、とてもいい友人達や、先生方にたくさん出会うことができました。なので、総じてとてもいい4年間だったのではないかと考えています。

最後になりますが、いろいろとお世話になった先生方や学類関係者の方々、先輩方や後輩方、そして同期のみんな、本当にありがとうございました！卒業はしますがこれからもよろしく願います！！

Communicated by Takeo Hama, Received April 12, 2012.